

## 平成26年度 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 103人 (前年度 35人) バンガロー 968人 (前年度 1,033人) 溪流茶屋 2,229人 (前年度 2,796人) 公園 10,460人 (前年度 11,580人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 7,576千円 (前年度7,782千円) 施設利用料金収入 3,860千円 指定管理料 3,548千円 その他の収入 168千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 7,513 千円 (前年度 7,647千円) 主な支出 施設使用料 84 千円 人件費 2,170千円 光熱水費 1,021千円 修繕・消耗品費等 1,471千円 委託料 2,115千円 負担金・公租公課 125千円 その他 527千円

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度から、来場した方に記入していただけるよう記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	昨年度は前年比売上3%前後の増収となったが、今年度は前年比9%減収となった。悪天候による宿泊キャンセル、釣り客の減少等が原因と思われる。特に休日の雨が多く来場者も約1割減となった。しかし、釣り大会やつかみ取り等各種のイベントに少しずつつりピータも増加傾向にある。今後一層地域の若者を対象としたイベントの開催を充実させていきたい。 公園内の管理については、天災による枝折れ・倒木・土砂の崩壊、有害獣による被害等修繕工事の必要箇所も増えています。
(3) 市の評価	平成26年度の施設利用者数について、悪天候の影響もあり、前年と比較して約1割(1648人)減となり、それに伴い、施設利用料金収入についても前年比約1割の減少となった。自主事業として溪流釣り大会、ふるさと祭りつかみ取り、テント村等を毎年開催しているが、さらなる集客数増加を狙ったイベントの充実や運営改善による収支の改善に取り組まれない。

## 平成27年度 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト	130人	(前年度 103人)
	バンガロー	1,274人	(前年度 968人)
	溪流茶屋	2,779人	(前年度 2,229人)
	公園	11,455人	(前年度 10,460人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理		

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	8,355千円	(前年度7,576千円)
	施設利用料金収入		4,756千円
	指定管理料		3,548千円
	その他の収入		51千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	8,201千円	(前年度 7,513千円)
	主な支出 施設使用料		84千円
	人件費		2,016千円
	光熱水費		1,055千円
	修繕・消耗品費等		2,141千円
	委託料		2,438千円
	負担金・公租公課		128千円
	その他		339千円

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度より来場者に記入していただけるよう、アンケート記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	H26年度は天候不順のため入場者が大幅に減少していたが、今年度は入場者13%増、売上23%増となった。宿泊費はH18年開場以来最高売上となった。各種イベントの参加者は天候に左右されるが、毎年参加のリピーターも増加しつつあるため、来年度はパンフレットを作成する等して広報活動に努めたい。公園内は、鳥獣被害もあるため維持管理に努めたい。施設の管理については、老朽化による修繕が増えつつあるが、来場者に迷惑のかからないよう早急な対応をとる様にしたい。
(3) 市の評価	一昨年は悪天候の影響で利用者数施設利用収入とも例年と比較して1割減であったが、昨年度は初夏・秋の行楽シーズンでの利用者が増え収入の大幅増にも繋がった。引き続き、リピーターだけでなく新規来客者共の集客数増となるよう、自主事業の充実を図り更なる利用促進に取り組まれない。また、獣害や施設の老朽化については、対策を協議するとともに施設の保全に十分に留意して、環境整備に努められた

## 平成28年度 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト	55人	(前年度 130人)
	バンガロー	1,084人	(前年度 1,274人)
	溪流茶屋	2,233人	(前年度 2,779人)
	公園	10,385人	(前年度 11,455人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理		

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	7,771千円	(前年度8,355千円)
	施設利用料金収入		4,181千円
	指定管理料		3,548千円
	その他の収入		42千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	7,652千円	(前年度 8,201千円)
	主な支出 施設使用料		84千円
	人件費		2,314千円
	光熱水費		1,028千円
	修繕・消耗品費等		1,820千円
	委託料		1,921千円
	負担金・公租公課		151千円
	その他		334千円

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度より来場者に記入していただけるよう、アンケート記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>前年度は入場者が平成22年ごろの水準に戻ったかと思えたが、今年度は売り上げが下がった。天候不順ばかりではなく、利用者のニーズが変わり、あまり費用を消費しないレジャーに変わってきたように思う。最近イベント参加型取組みが好まれている向きもある。冬場のソリ・スキー等の要望も多く、雪を利用した施設や対応が必要。</p> <p>平成29年度中にはパンフレットを作成し、さらに広報に努めたい。</p> <p>公園内のイノシシの被害が年々増えている。シカも多い。今年度はイノシシの被害、大雪による落石・倒木が多かった。管理面積が多く苦慮しており、経費面の検討をしていただきたい。</p> <p>施設、備品については、整備してから10年が経過し、修理も多い。特に寝具やクッキングヒーターの交換、暖房器具の補充が必要。</p>

(3)市の評価	<p>今年度の施設利用者は、前年度の9割弱であった。特に、テントサイトの利用者が前年度の4割程度にまで落ち込んでいる。イベントの回数、内容については前年度と変更は無く、天候にも比較的恵まれていた。利用者数減少の原因として、各地でイベント開催も活発であるために観光客が分散した可能性もある。さらにPRに努め、集客数増加を図りたい。</p> <p>今後はパンフレット等を利用した広報の拡大、冬場のイベントの開催等の自主事業の充実を図り、収支の改善を行う必要がある。</p> <p>また、獣害や設備の老朽化について、対策を協議していく必要がある。</p>
---------	--